

海外安全対策情報

【定期報告：1月～3月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 依然として観光客を狙った犯罪が多発しているため、引き続き注意が必要である。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2016年1月～3月における邦人に対する被害の報告件数は2件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

イ 3月7日午後、ケープタウン市トカイのハイキング道で10代の少女が殺害されているのを発見された。スマートフォンと防犯用GPS付の腕時計が奪われており、また全身が殴打などによる傷を負っていた。数日後、容疑者と見られる4人の男が逮捕された。

(2) 強盗

邦人被害

ア 1月17日午後9時頃、ケープタウン市ハウトベイにあるゲストハウスの周辺を散歩していた邦人旅行客が、ゲストハウスから出た数十メートルのところで2人組の黒人の男らに囲まれ、所持していた財布を奪われた。邦人に怪我はなかった。

イ 2月26日午前3時～4時頃、西ケープ州タルバフで出張中の邦人の家に強盗が入った。被害者の就寝中、旅券や現金、テレビ、バッグなどの貴重品類が全て盗まれていた。邦人に怪我はなかった。

その他の被害事件

ア 邦人被害者情報なし。

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

イ 1月23日深夜未明、ケープタウンのケープタウン大学構内において、2名の女子学生が強姦される事件が発生した。大学構内で女子学生を狙う犯罪が昨年12月より起きており、1月27日も同様の犯罪が発生した。ケープタウン大学は警備を強化す

るなどし、学生には注意を促している。

(4) その他

- ア 1月12日午前2時頃、ケープタウンの幹線道路（N2）、カエリッチャ付近において、路側帯に停止した車輛のドライバーを暴行する事件が発生した。ドライバーと乗っていた人らは複数回身体を刺された。巡回中の警察が駆けつけた際に、犯人らは逃走した。昨年はN2上で同様の事件の首謀者が15人逮捕されている。
- イ 1月18日早朝、ダーバンヴィル郊外を自転車で走っていた男性を複数の男が襲い、被害者の所持品を奪った。犯行手口は男性が自転車で走行中、突然スポークの間に棒を挟まれ、転倒した際に、レンガなどの鈍器で被害者に襲いかかるといったものだった。
- ウ 1月末、ケープタウンのテーブルマウンテンを単独で登っていた男性が登山路（Kasteelpoort）から滑落し、死亡しているのを発見された。事件性はないと報道されている。同登山路はテーブルマウンテンの登山路の中でも最も安全とされているルートの1つだと国立公園関係者は述べている。また、テーブルマウンテンでは年数回の滑落事故及び登山客を狙った強盗が報告されている。
- エ ケープタウンの幹線道路であるN7近辺でスマッシュアンドグラブやハイジャック事件が昨今増加しているとの報道がなされた。被害はN7のPotsdam～Bosmansdamまで広い範囲で確認されており、とりわけ夜間の走行は危険と警察は呼びかけている。犯行は信号で停車しているところ、或いはレンガなど障害物を用い強制的に車を停止させたところを狙った手口となっている。
- オ 2月14日午前11時頃、ケープタウン市のカベンディッシュスクエアの宝石店に4人の武装強盗が入り、貴金属等を強奪していった。犯人らは発煙弾を使用した後、拳銃を数発発砲し逃走した。同宝石店は昨年9月にも同様の被害に遭っている。
- カ ケープタウンのカンパニーズガーデンで毎月平均2件の窃盗事件が起きていると現地紙のケープアーガス紙が報道している。狙われるのは単独行動者で学生なども狙われており、市と警察は対応を検討している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好である。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。